Japan Lifeline Co., Ltd.

2009年3月期決算説明会

2009年6月4日

日本ライフライン株式会社

Japan Lifeline Co., Ltd.

2009年3月期決算報告
2010年3月期業績予想

常務取締役管理本部長
政 次　浩 二

2009年3月期決算のポイント

◆保険償還価格引き下げによる売上単価下落

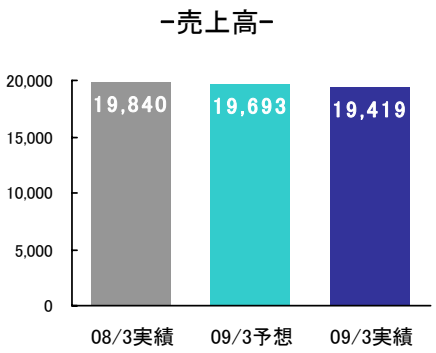
◆ソーリン・グループ商品の売上増による粗利益率の改善（前年同期比4.0％）

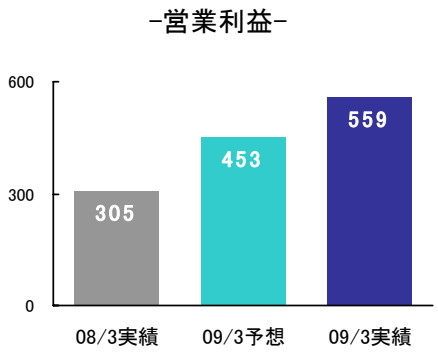
◆為替差益245百万円の計上

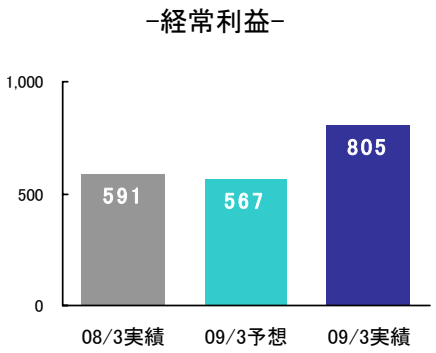
◆法人税等の増加（前年同期比103百万円増）

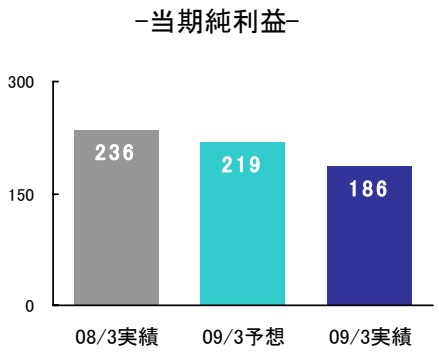
2009年3月期通期業績

（単位：百万円）	2008/3期 通期実績	2009/3期 通期予想	2009/3通期実績 金額	前期比増減率	予想比増減率
売上高	19,840	19,693	19,419	△2.1%	△1.4%
営業利益	305	453	559	83.0%	23.4%
経常利益	591	567	805	36.3%	42.0%
当期純利益	236	219	186	△21.2%	△15.2%





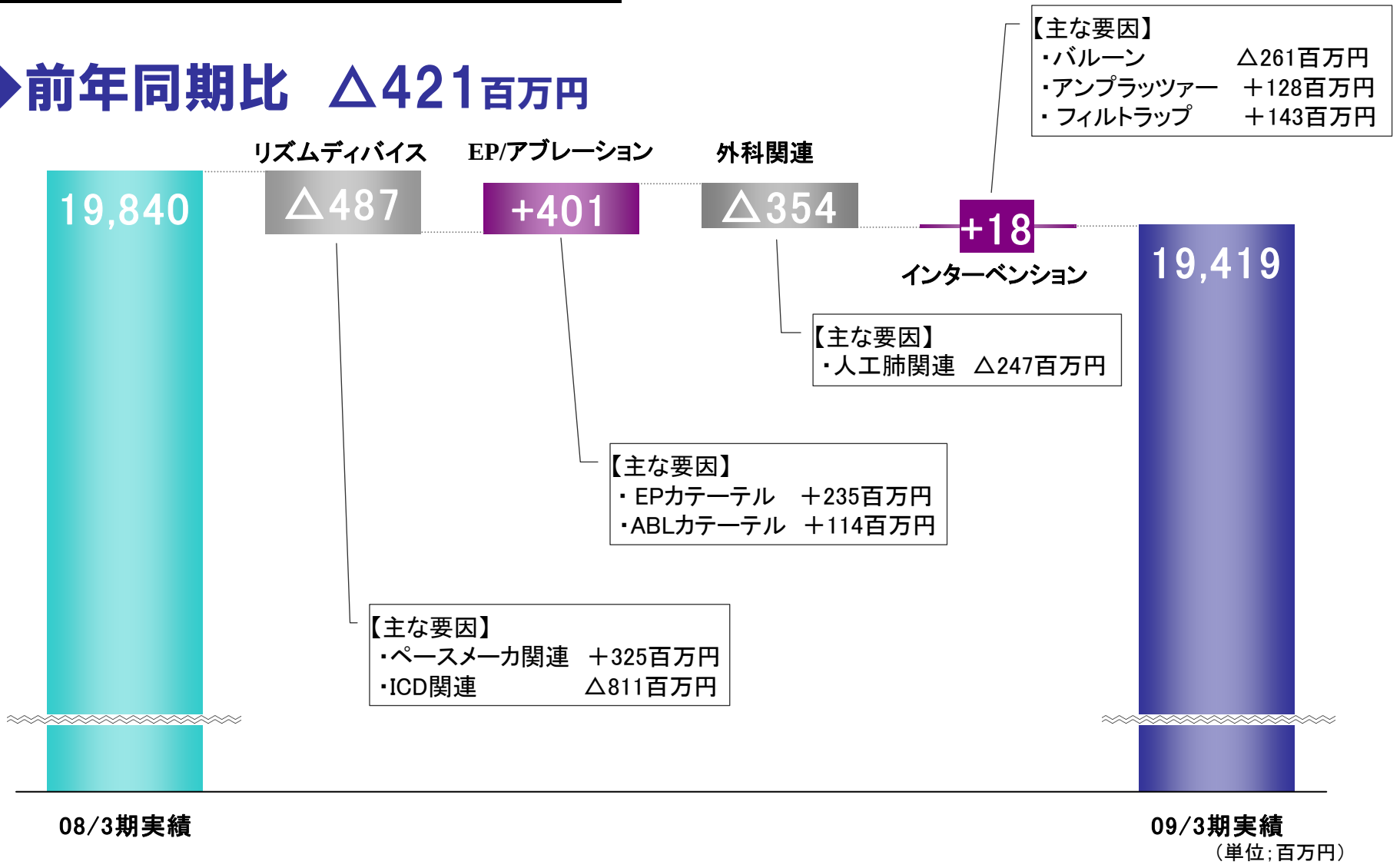




（単位：百万円）

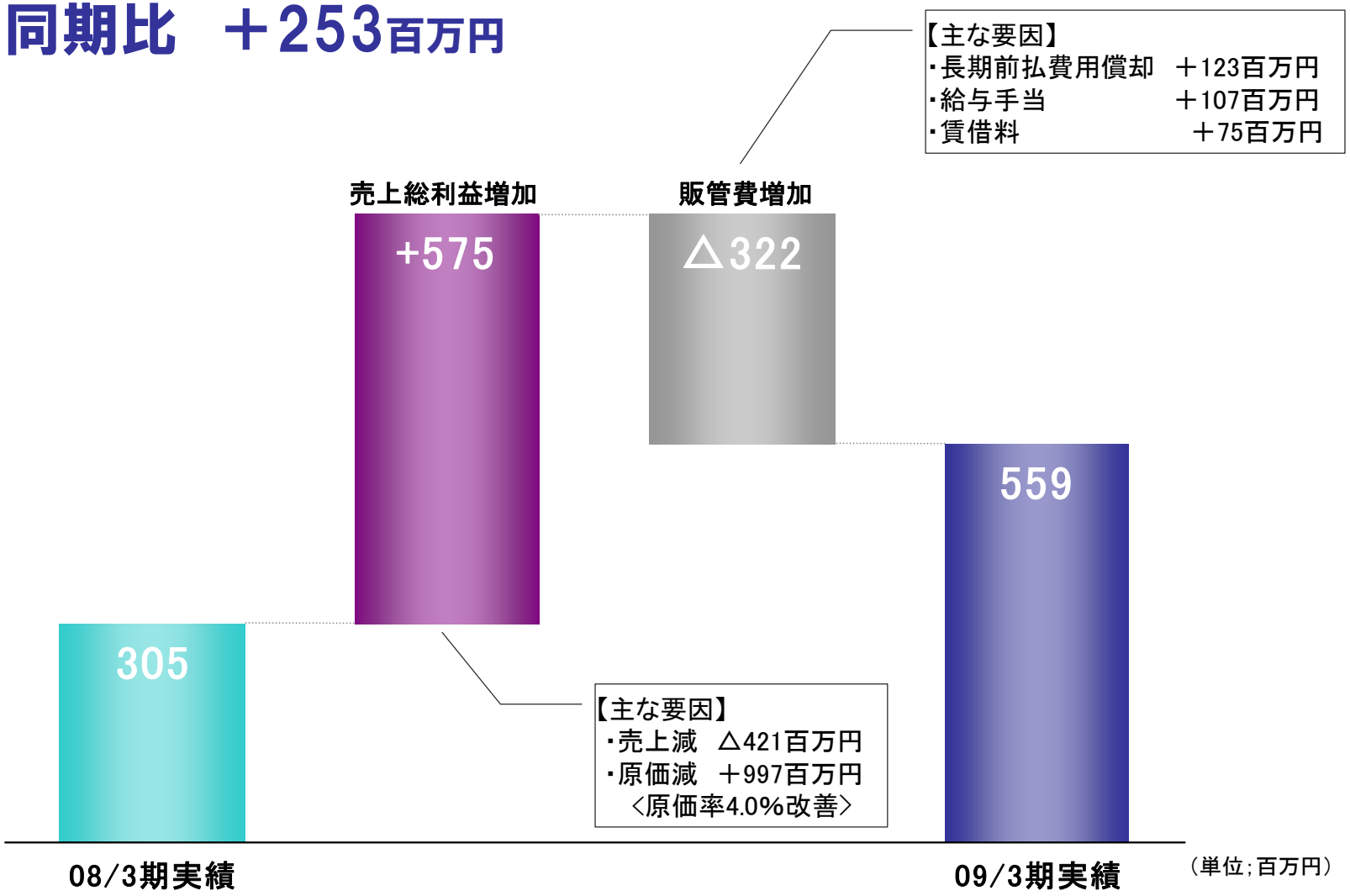
前年同期比較－売上高

◆前年同期比　△421百万円

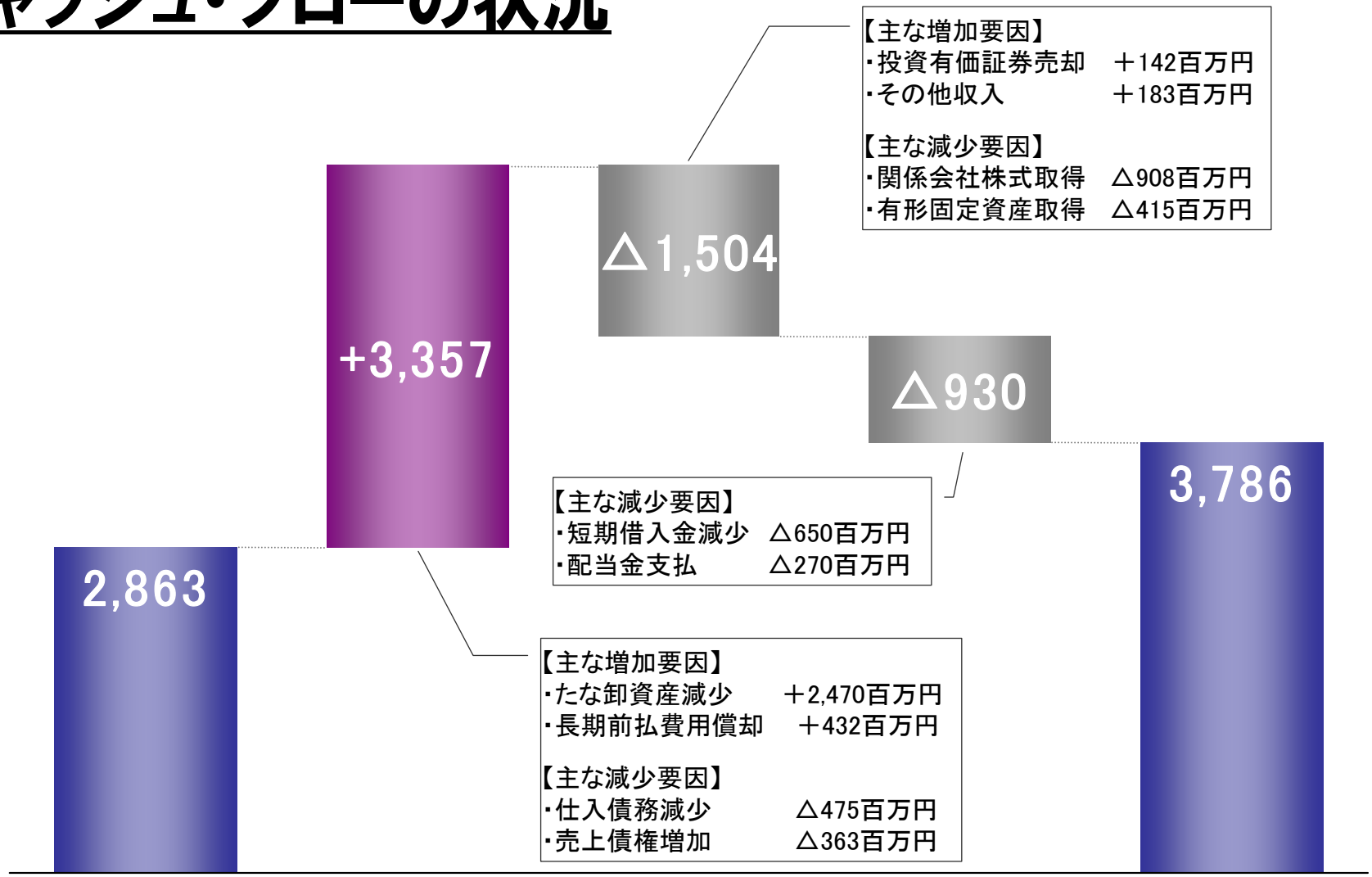


前年同期比較ー営業利益

◆前年同期比　＋253百万円



キャッシュ・フローの状況



（単位；百万円）

2010年3月期予想のポイント

◆子会社JUNKEN MEDICALの損益を連結

※2009年3月期は期末日をみなし取得日とするため
貸借対照表のみを連結

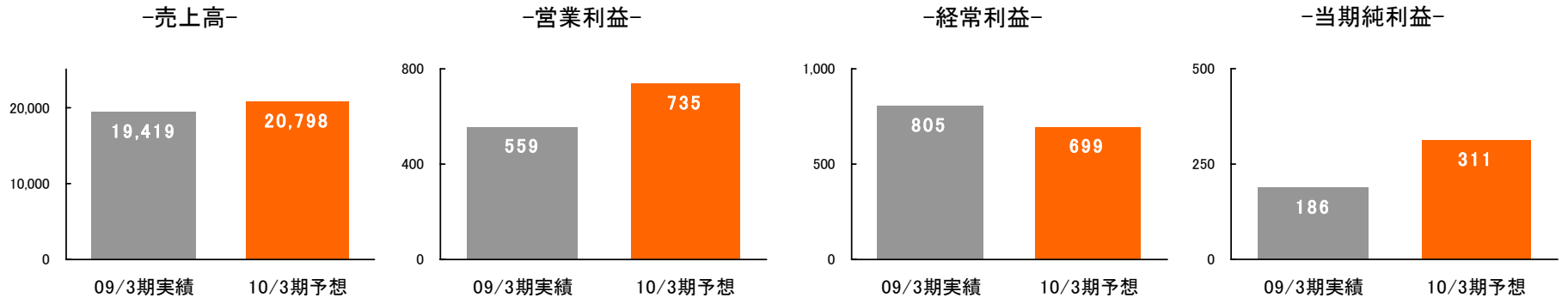
◆保険償還価格の改定による影響がない

◆取扱製品変更による人工血管売上減少
（2009/3期比△2,027百万円）

◆営業外収益の減少（2009/3期比△329百万円）

2010年3月期通期業績予想

（単位：百万円）	2009/3期実績（単体）		2010/3期予想（連結）			
	金額	構成比	金額	構成比	09/3比増減額	09/3比増減率
売　上　高	19,419	100.0%	20,798	100.0%	1,379	7.1%
営 業 利 益	559	2.9%	735	3.5%	176	31.6%
経 常 利 益	805	4.1%	699	3.4%	△106	△13.2%
当期純利益	186	1.0%	311	1.5%	125	67.4%



（単位：百万円）

セグメント(品目区分)の変更について

【現　行】

- リズムディバイス
  - ペースメーカ関連
  - ICD関連
  - その他
- EP/アブレーション
  - EPカテーテル
  - アブレーションカテーテル
  - その他
- 外科関連
  - 人工弁
  - 人工肺関連
  - 人工血管
  - その他
- インターベンション
  - バルーンカテーテル
  - ガイドワイヤー
  - アンプラッツァー
  - その他

2010/3期より変更

現在の4区分から「その他」を加えた5区分に変更。

「その他」には、連結子会社のみで販売する以下の商品を区分。

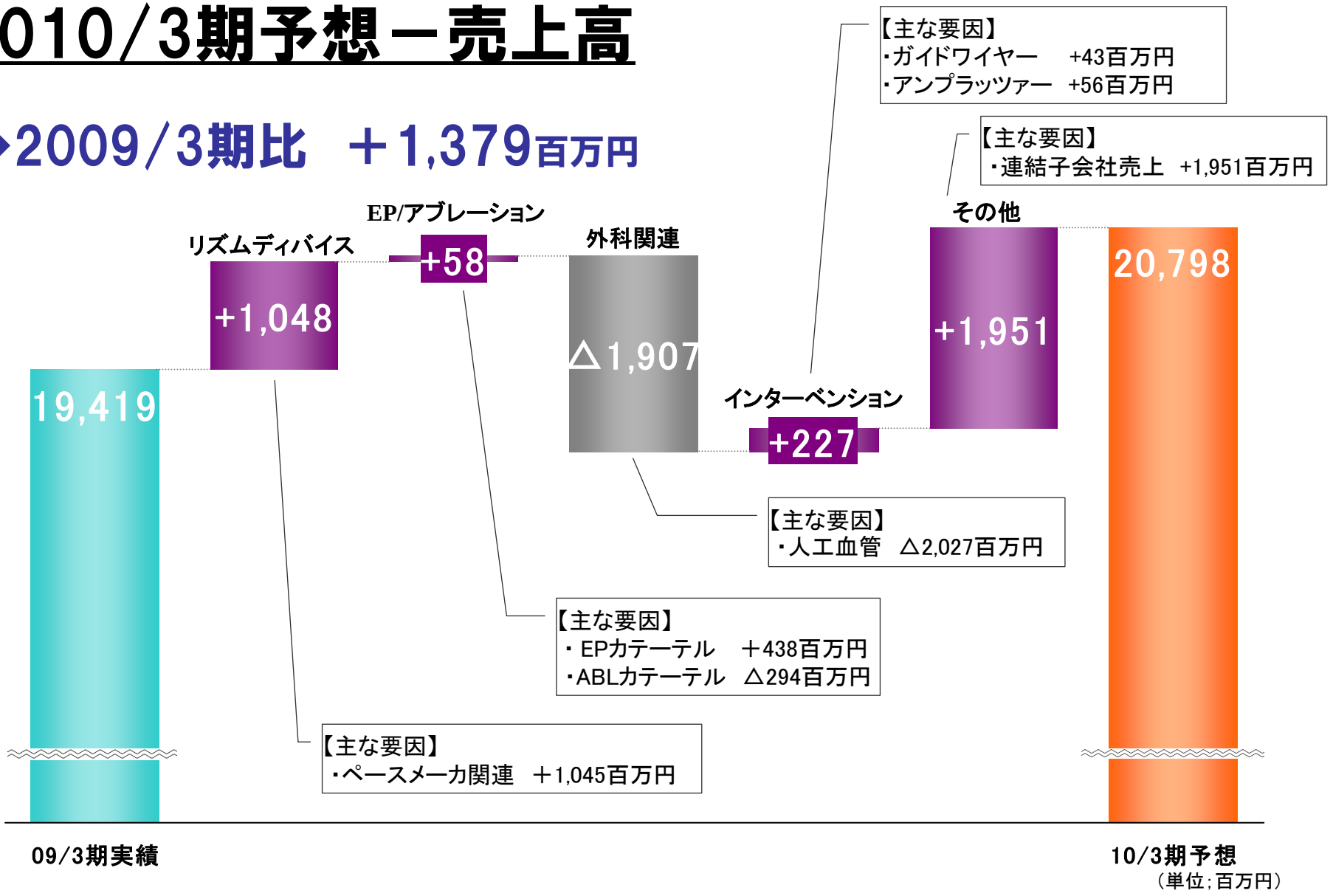
・血液浄化装置、回路
・血液濾過器
・ディスポーザブルトランスデューサー
・リフト式体重計　等

【変更後】

- リズムディバイス
  - ペースメーカ関連
  - ICD関連
  - その他
- EP/アブレーション
  - EPカテーテル
  - アブレーションカテーテル
  - その他
- 外科関連
  - 人工弁
  - 人工肺関連
  - 人工血管
  - その他
- インターベンション
  - バルーンカテーテル
  - ガイドワイヤー
  - アンプラッツァー
  - その他
- その他

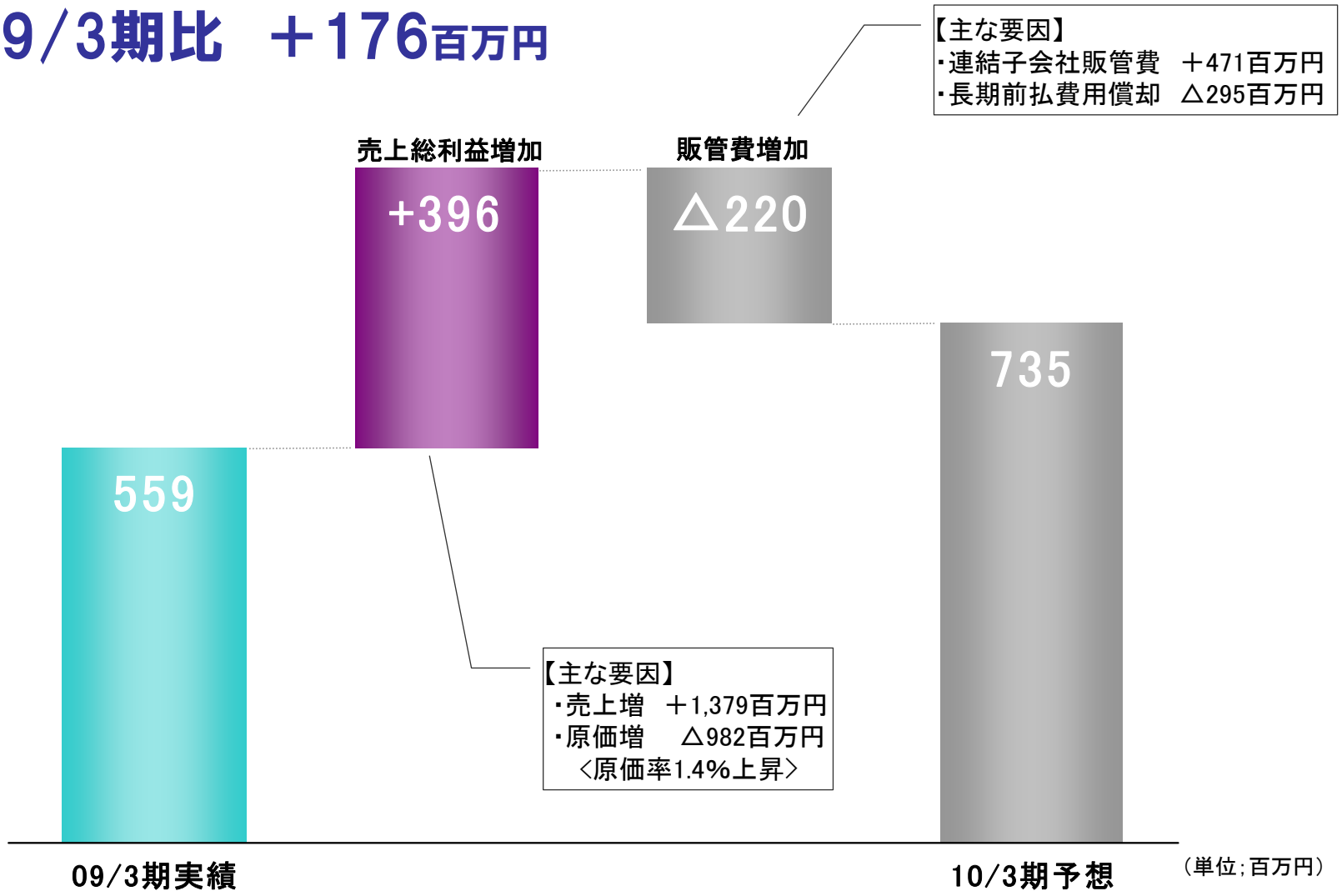
2010/3期予想－売上高

◆2009/3期比　＋1,379百万円



2010/3期予想－営業利益

◆2009/3期比　＋176百万円



補足データ

（単位；百万円）	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期 計　画
設　備　投　資　額	271	144	305	460	586
減　価　償　却　費	211	150	206	253	328
研　究　開　発　費	257	202	225	276	236
期末従業員数（名）	364	370	419	（単）430 （連）488	（単）453 （連）510

（資料）要約損益計算書

（単位：百万円）

	2008/3期実績（単）	2009/3期実績（単）		2010/3期計画（連）	
	金　額	金　額	前期比	金　額	前期比
売上高	19,840	19,419	△2.1%	20,798	7.1%
売上原価	10,626	9,629	△9.4%	10,611	10.2%
売上総利益	9,214	9,790	6.2%	10,186	4.1%
販管費	8,908	9,230	3.6%	9,451	2.4%
営業利益	305	559	83.0%	735	31.6%
営業外収益	354	345	△2.7%	15	△95.5
営業外費用	69	98	42.7%	52	△47.2%
経常利益	591	805	36.3%	699	△13.2%
特別利益	127	9	△92.6%	―	△100.0%
特別損失	189	233	23.0%	―	△100.0%
税前当期利益	528	581	10.0%	699	20.2%
法人税等	292	395	35.3%	387	△2.0%
当期純利益	236	186	△21.2%	311	67.4%

（資料）セグメント別売上高

（単位：百万円）

	2008/3期	2009/3期		2010/3期予想		
	金額	金額	前期比	金額	前期比	
ペースメーカ関連	8,050	8,375	4.0%	9,421	12.5%	
ＩＣＤ関連	2,124	1,312	△38.2%	1,323	0.8%	
その他	72	71	△1.4%	64	△10.2%	
リズムディバイス計	10,247	9,759	△4.8%	10,808	10.7%	
ＥＰカテーテル	1,279	1,515	18.4%	1,953	28.9%	自社製品
ＡＢＬカテーテル	1,733	1,847	6.6%	1,553	△15.9%	自社製品
その他	122	173	42.1%	88	△49.4%	
ＥＰ／ＡＢＬ計	3,135	3,536	12.8%	3,595	1.6%	
人工弁	888	811	△8.6%	897	10.5%	
人工肺関連	478	231	△51.6%	267	15.4%	
人工血管	2,538	2,510	△1.1%	482	△80.8%	自社（子会社）製品
その他	2	0	△82.6%	―	△100.0%	
外科関連計	3,907	3,553	△9.1%	1,646	△53.7%	
バルーン	1,162	900	△22.5%	944	4.9%	
ガイドワイヤー	440	420	△4.6%	463	10.2%	自社製品
アンプラッツァー	366	495	35.2%	551	11.5%	
その他	581	752	29.4%	836	11.2%	フィルトラップ含む
インターベンション計	2,550	2,568	0.7%	2,796	8.9%	
その他	―	―	―	1,951	―	連結子会社販売商品
合計	19,840	19,419	△2.1%	20,798	7.1%	

Japan Lifeline Co., Ltd.

課題と展望

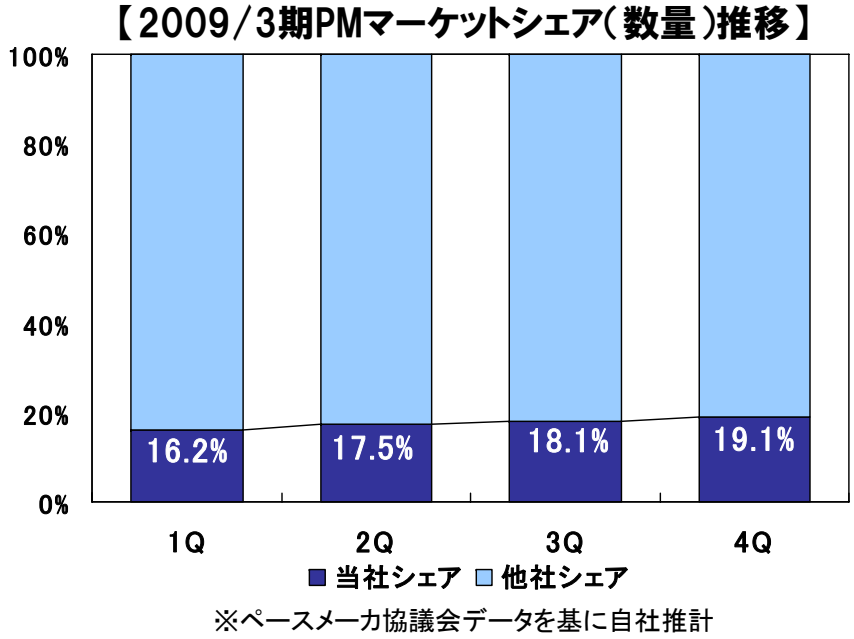
代表取締役社長
鈴 木　啓 介

ペースメーカの現況

◆新商品発売により売上シェア拡大

ーペースメーカ新商品「reply DR/SR」の発売（2008年9月）

ー販売数量は前期比15.5%増加



※ペースメーカ協議会データを基に自社推計

【Replyについて】
- ー世界最小クラス　8cc、20g
  （同社旧来製品　10.5cc、24g）
- ー長寿命　11.6年（DR予想電池寿命）
- ーSafeR搭載（DR）・・・不要な心室への刺激を抑制
- ー保険償還価格　133万円（DR）



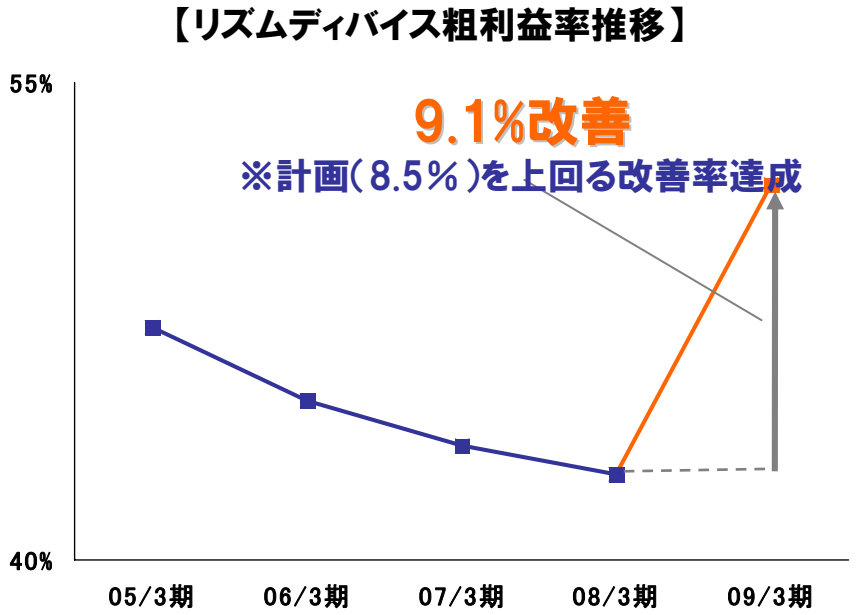
リズムディバイスの現況

◆粗利益率が大幅改善（前期比9.1％）

ーソーリン・グループ商品の売上構成比上昇

ーCRT-Dの売上高減少（前期比△77.9%）

＊売上単価は高いものの低利益率



リズムディバイスの来期見通しと課題①

◆売上高は前期比10.7％増見込み（2010/3期）

ーペースメーカ関連は好調に推移する見込み
＊PM関連売上高　1,045百万円（2009/3期比12.5％増）

ーICDの拡販に注力
＊現行商品「ovatio」の優位性を訴求
＊ICD売上高　200百万円（2009/3期比17.8％増）

【ovatioについて】
ー世界最小クラス　30.8cc、11㎜
ーSafeR搭載…不要な心室への刺激を抑制
ーPARAD⁺搭載…不要な除細動ショックを
最小限に抑制

ELA ovatio



リズムディバイスの来期見通しと課題②

◆High Energy Deviceの早期導入

ー「Paradym CRT/DR・VR」の早期導入（2011/3期予定）

ー医療現場では高出力機が選択される傾向

ー現行CRT-Dの販売は縮小



CRT-D「Paradym CRT」

EP/アブレーションの現況

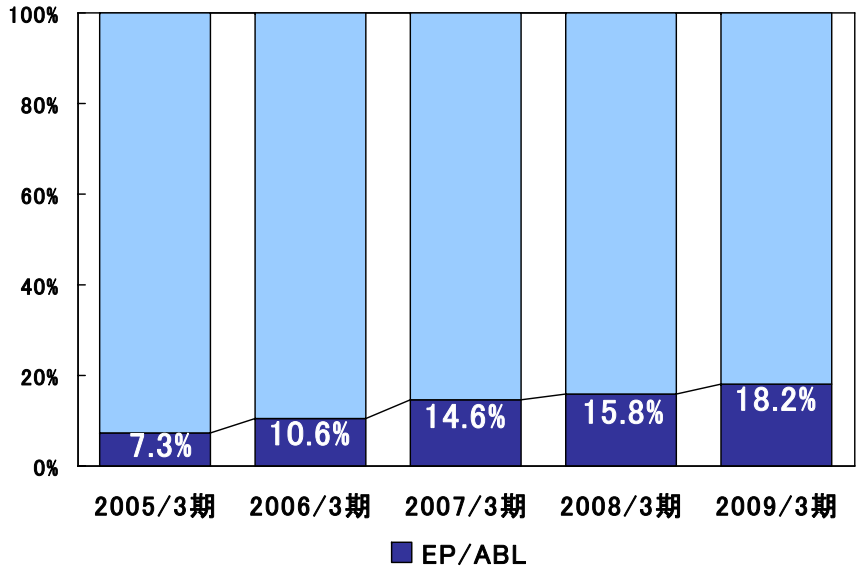
◆売上、利益面双方での構成比率上昇－第2の柱へ

－EPカテーテル売上高　1,515百万円（前期比18.4%増）

－ABLカテーテル売上高　1,847百万円（前期比6.6%増）

－EP/アブレーションの売上高構成比18.2%

【EP/ABL売上高構成比推移】



※全社売上高を100%とする

J·Cath
JAPAN LIFELINE CO., LTD.

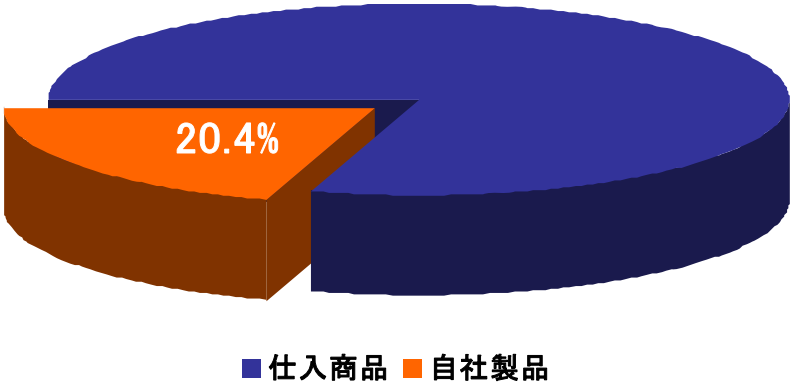
自社製造製品の現況

◆自社製造製品の業績への寄与度高まる

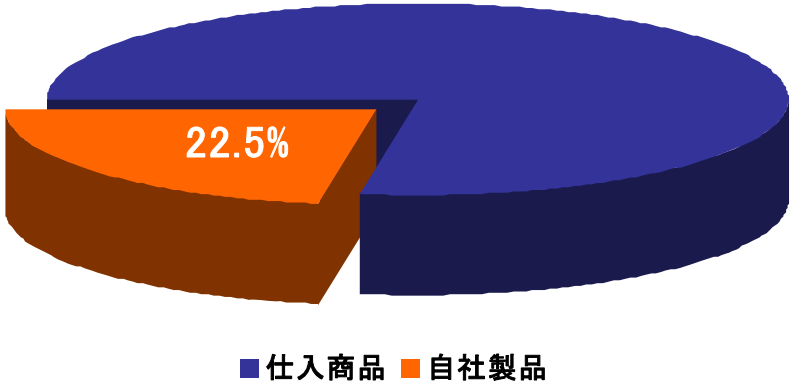
－自社製品売上高　3,953百万円（2008/3期比12.4%増）

－自社製品粗利高　2,206百万円（2008/3期比5.7%増）

－売上高構成比－



－粗利益構成比－



※自社製品にはEPカテーテル、アブレーションカテーテルに加えガイドワイヤー等全ての自社製造製品を含む

自社製造製品の歩み

◆自社製品の歴史

－開発　10年（1999年　リサーチセンター設立）
－製造　 9年（2000年　浮間ファクトリー設立）
－販売　 8年（2001年　ガイドワイヤー発売）

→ 売上高3,953百万円まで成長

◆中期目標

	（09/3期実績）		（中期目標）
・売上高構成比	20.4%	→	25%
・粗利益構成比	22.5%	→	30%

EP/アブレーションの来期見通しと課題

◆ABLカテーテルの売上減少から来期売上はフラット

－2010年3月期売上高　3,595百万円（2009/3期比1.6%増）

－EPカテーテルの拡販に注力
＊新商品の販売開始予定
＊EPカテーテル売上高1,953百万円（2009/3期比28.9%増）

－競合商品の参入によりABLカテーテルは売上減少見込み
＊ABLカテーテル売上高1,553百万円（2009/3期比15.9%減）

－製造原価低減により収益率は改善見込み

－次期製品の上市に向けた準備

人工血管の現況

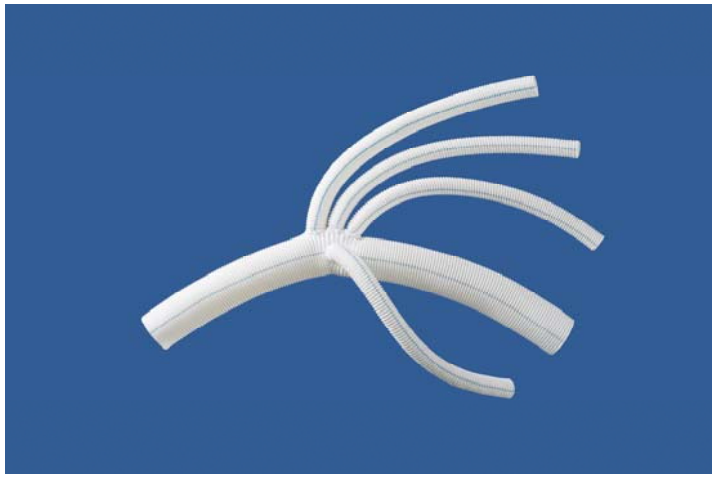
◆人工血管において自社グループ製品の販売開始

－旧来商品は3月末日をもって販売終了

－4月1日より「J Graft」（JUNKEN MEDICAL社製）を発売

－唯一の国産製品

－市場からは高評価（止血性、ハンドリングの良さ）



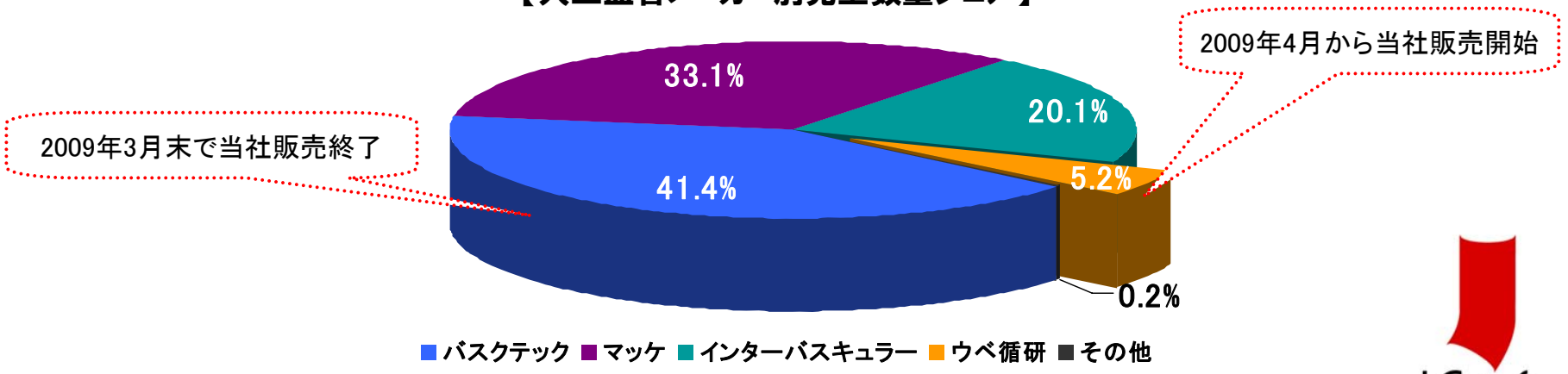
J Graft シールド NEO 4分岐管

人工血管の来期見通しと課題

◆生産能力増強により売上シェア増を目指す

－人工血管売上　2,510百万円（2009/3期実績）
－販売余力と生産能力にギャップ
－現工場の増産体制の強化
－新工場の着工準備（2010年下期稼働予定）

【人工血管メーカー別売上数量シェア】



※「医療機器・用品年鑑2008年版」（アールアンドディ社刊）を基に作成
※データは2008年1月～12月予測数値

JGraft

JUNKEN MEDICAL社について

◆(株)ウベ循研(宇部興産子会社)を2月17日付で
100%子会社化・社名変更

◆買収価額は908百万円(負ののれん27百万円/5年償却)

【JUNKEN MEDICAL株式会社概要】

・本社	東京都千代田区神田小川町
・設立	1967年1月
・資本金	150百万円
・売上高	1,993百万円（2009年3月期）
・従業員数	58名（2009年3月末）
・事業内容	医療機器の製造、輸入、販売
・製品	人工血管、血液浄化用装置及び回路、人工心肺回路等
・工場	東松山工場（埼玉県）、千葉工場（千葉県）
・営業所	東京、大阪

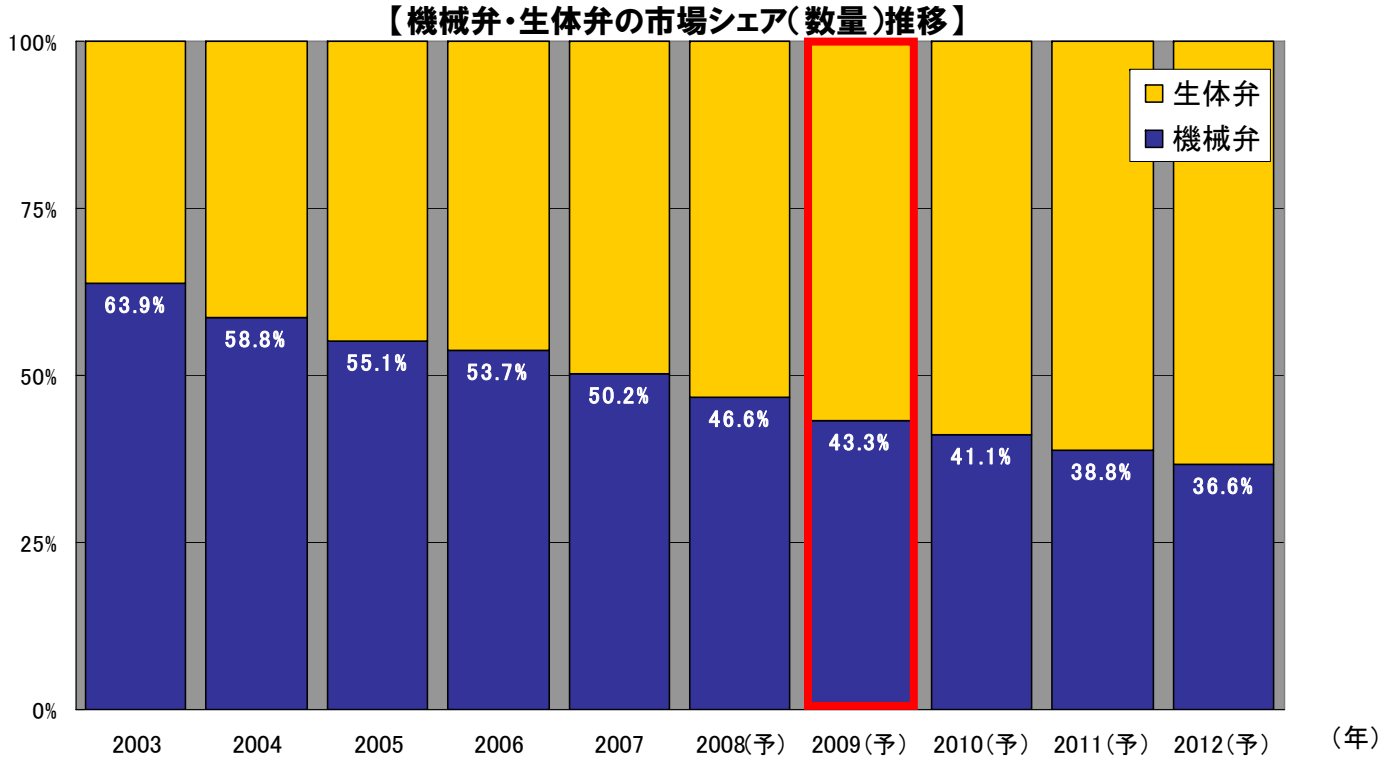
JUN-KEN MEDICAL
JAPAN LIFELINE GROUP

人工弁の現況

◆人工弁の売上高は縮小傾向

－機械弁から生体弁、弁形成術へと治療方法がシフト

－機械弁単品から商品ラインナップの拡充が必要



※「2008年版メディカルバイオニクス市場の中期予測と参入企業の徹底分析」（矢野経済研究所）を基に作成

人工弁の来期見通しと課題①

◆ソーリン・グループ人工弁の独占販売契約を締結

－現行の機械弁供給元（カーボメディクス社）はソーリン
　グループ傘下

－CRMビジネスにおけるパートナーシップの存在

－ソーリン・グループの全ての人工弁関連商品の国内で
　の独占販売権を獲得

－ソーリン日本法人の取扱商品も当社が販売（6月1日より）

人工弁の来期見通しと課題②

◆早期の生体弁導入を目指す

－ソーリン・グループ製の生体弁、人工弁輪、スーチャレス弁※の早期国内導入を目指す

※縫合が不要となる低侵襲の生体弁。現在、欧州で治験中。



人工弁輪「MEMO 3D」



生体弁「Mitroflow」



スーチャレス弁「Perceval」

人工弁独占販売契約の締結

◆独占販売契約の概要

－契約先　ソーリン・バイオメディカ・カーディオ社（イタリア）

－契約締結日　2009年4月16日

－契約期間　2009年6月1日から10年間

－対象商品　ソーリン・グループ製の機械弁、人工血管付機械弁、生体弁、スーチャレス弁、人工弁輪およびその他の人工心臓弁関連製品

※生体弁、スーチャレス弁および人工弁輪等は、現時点で日本においては薬事未承認。

【ご参考：人工心臓弁とは】
人工心臓弁は、心臓の弁の閉鎖不全や狭窄等により弁本来の機能を果たせなくなる心臓弁膜症の患者さんに対して移植されるものであり、カーボンやチタン等の人工の材料から作成される機械弁とウシの心膜やブタの心臓弁から作成される生体弁に分類されます。
機械弁は、半永久的とも言われる耐久性を持っていますが、血液の凝固を防ぐための薬を服用し続ける必要があります。一方、生体弁はその様な薬の服用が必要ないものの、耐久性の面では機械弁には劣ります。
また、人工弁輪を用いて自己の心臓弁を温存する弁形成術により、人工心臓弁への置換を行わない治療方法もあります。

インターベンションの現況

◆アンプラッツァー、フィルトラップが好調に推移

ーアンプラッツァー認定施設が17施設まで増加

＊2009/3期売上高　495百万円（前期比35.2%増）

ーフィルトラップの市場での認知度が高まる

＊2009/3期売上高　598百万円（前期比28.0%増）

ーバルーンカテーテル、ガイドワイヤーは売上高減少

＊保険償還価格の影響に加え売上数量も減少

インターベンション(２) 課題と見通し

◆ガイドワイヤー(自社製品)

ー「アスリート・プレミアム」を発売(2009年3月)

＊主力モデル「アスリートGT」の後継商品

＊約9年ぶりのフルモデルチェンジ

ー2006年発売の「アスリート・イール」も一定のシェア確保

ーガイドワイヤーの市場シェア回復へ

◆PTA(末梢血管治療用)バルーンカテーテルの導入

ー「VascuTrak2」(YMed社製)の発売(2010/3期中)

ー末梢血管領域への参入

インターベンション(３) 課題と見通し

◆アンプラッツァー商品の導入・浸透を進める

ーASD(心房中隔欠損症)ディバイス

＊認定施設の増加へ向けた取り組みを継続

＊医師、患者に対する認知度向上への取り組み

ー多孔性ASDディバイス

＊2010/3期中に薬事承認取得見込み

ーPDA(動脈管開存症)ディバイスの販売開始

＊2008年12月に薬事承認取得

＊2010/3期中に販売開始見込み



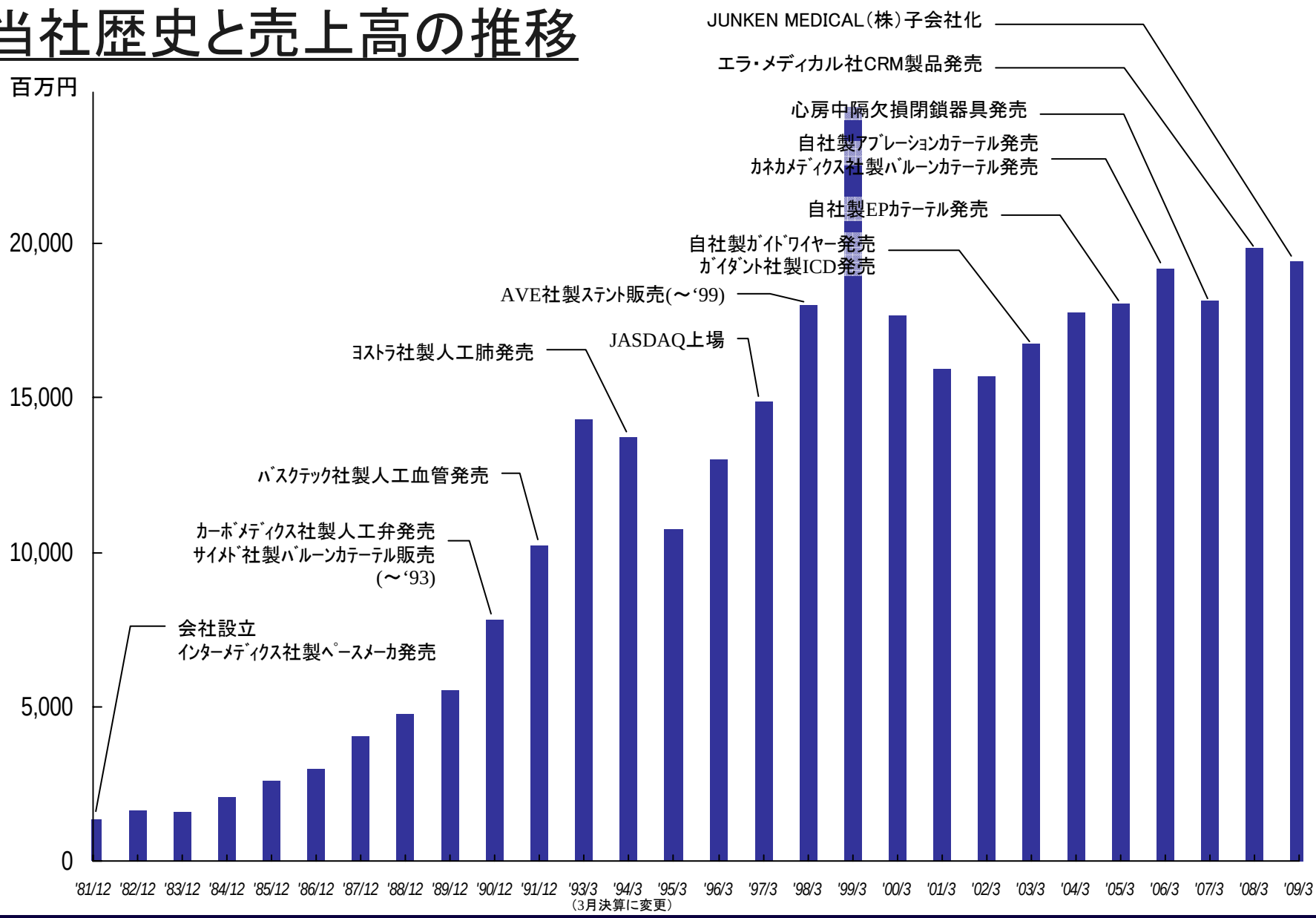
「アンプラッツァー・ダクト・オクルーダー」

Japan Lifeline Co., Ltd.

(参考)会社概要

【商　　号】日本ライフライン株式会社
【代 表 者】代表取締役社長　鈴木　啓介
【本　　社】東京都品川区東品川2-2-20天王洲郵船ビル
【設　　立】1981年2月6日
【上　　場】1997年12月8日（JASDAQ）
【証券コード】7575
【事業内容】医療機器の輸入、製造および販売
【資 本 金】2,115百万円
【従業員数】連結 488名/単体 430名（2009年3月末現在）
【事 業 所】営業所（25）、出張所（3）、
ディストリビューションセンター
リサーチセンター、浮間ファクトリー
天王洲ACCADEMIA（研修センター）

当社歴史と売上高の推移

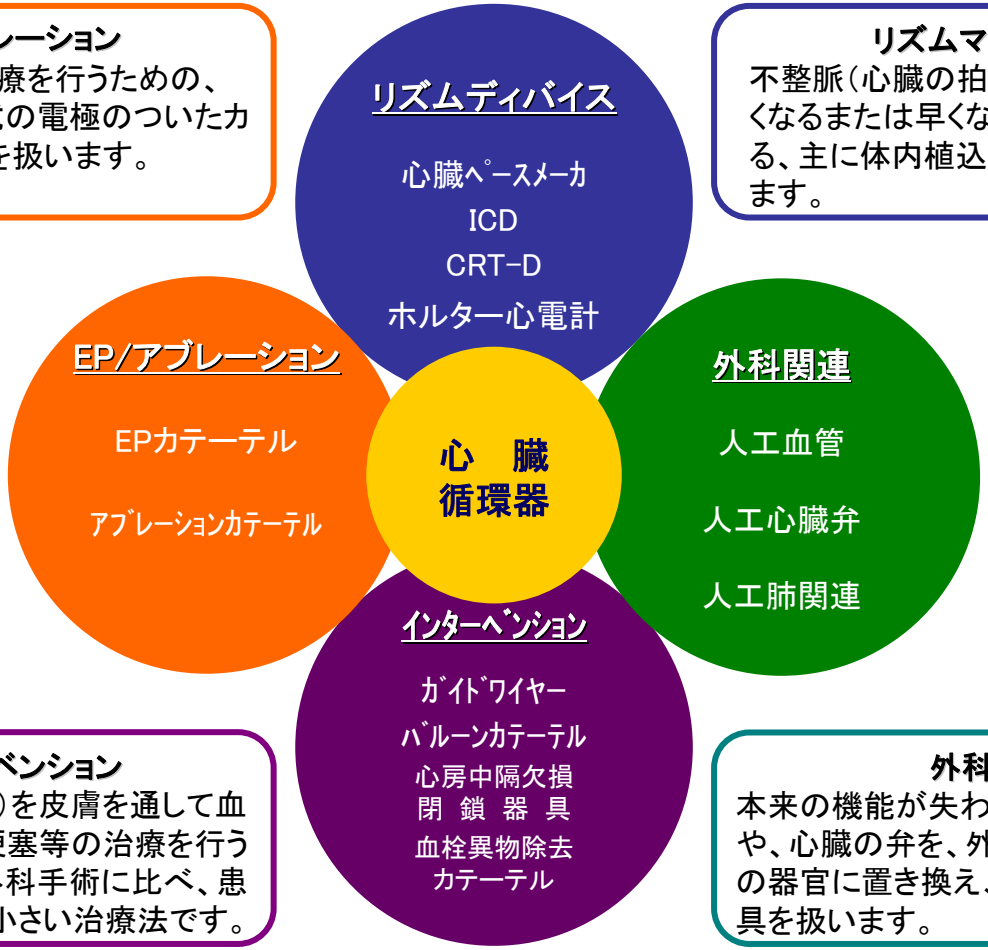


事業領域

当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムディバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、の4つに大別されます。

EP/アブレーション
不整脈の検査や治療を行うための、ディスポーザブル式の電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

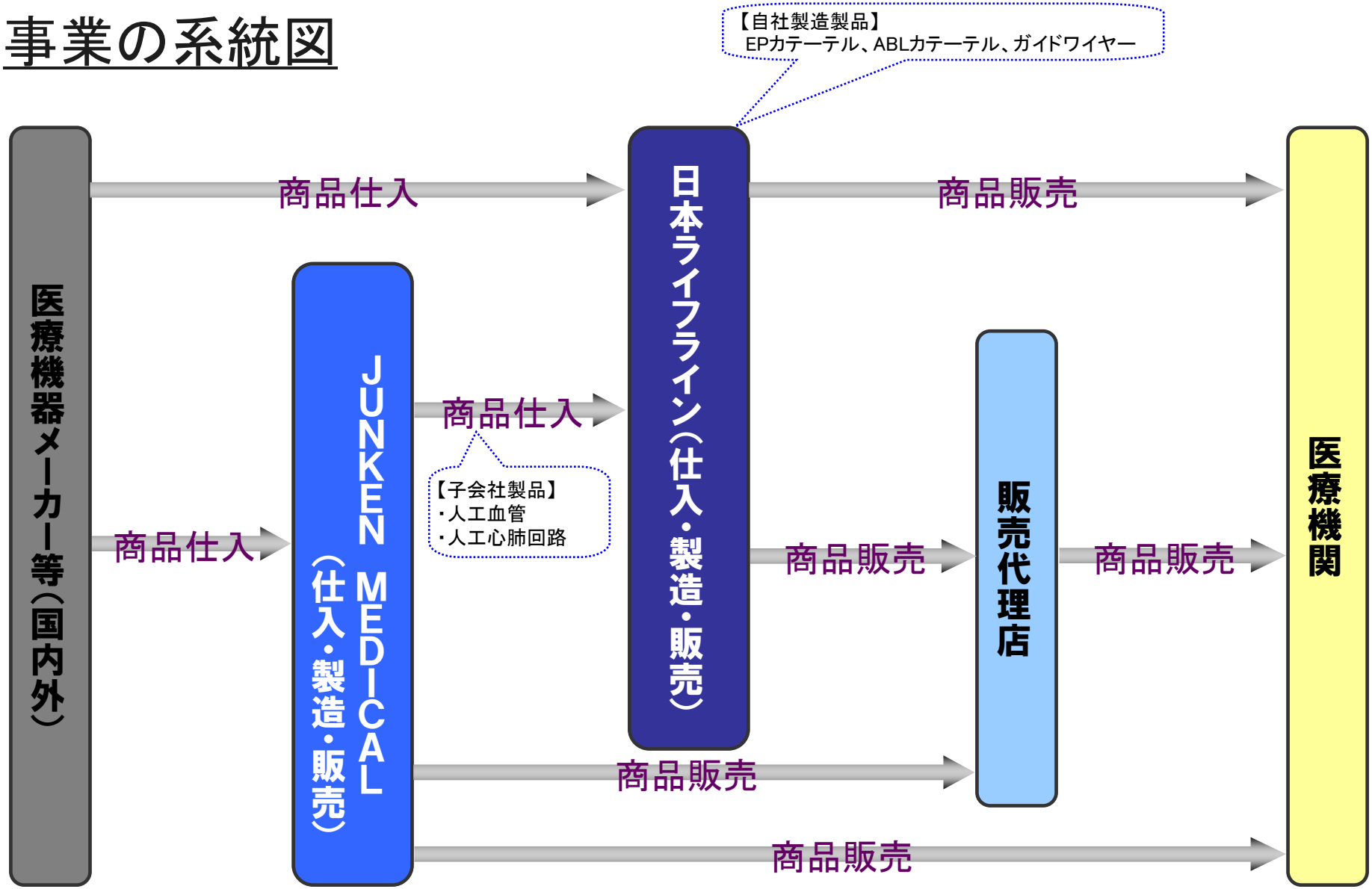
リズムマネジメント
不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなるまたは早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。



インターベンション
カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者さんへの負担が小さい治療法です。

外科関連
本来の機能が失われてしまった血管や、心臓の弁を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

事業の系統図


【自社製造製品】
EPカテーテル、ABLカテーテル、ガイドワイヤー
医療機器メーカー等（国内外）
商品仕入
日本ライフライン（仕入・製造・販売）
商品販売
JUNKEN MEDICAL（仕入・製造・販売）
商品仕入
【子会社製品】
・人工血管
・人工心肺回路
商品仕入
商品販売
販売代理店
商品販売
医療機関
商品販売
商品販売

商品紹介:リズムディバイス



心臓ペースメーカ

（Sorin Group社製）

心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。



ICD（植込み型除細動器）

（Sorin Group社製）

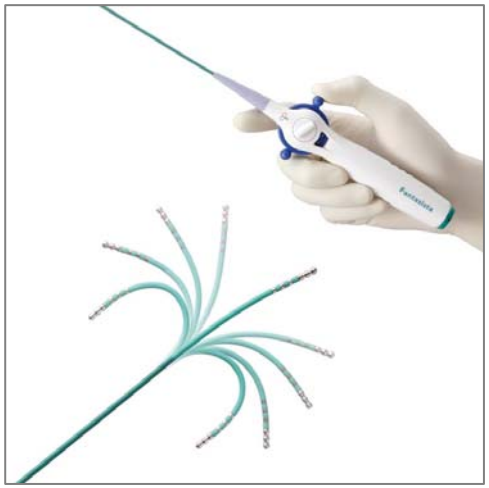


ホルター心電計

（Sorin Group社製）

長時間の心電図を記録することで、短時間で出現しない異常や日常生活での心臓の状態を記録します。

商品紹介：EP/アブレーション



アブレーションカテーテル

（自社製造製品）

頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流により焼き切り治療します。



EP（電気生理用）カテーテル

（自社製造製品）

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

J·Cath
JAPAN LIFELINE CO., LTD.

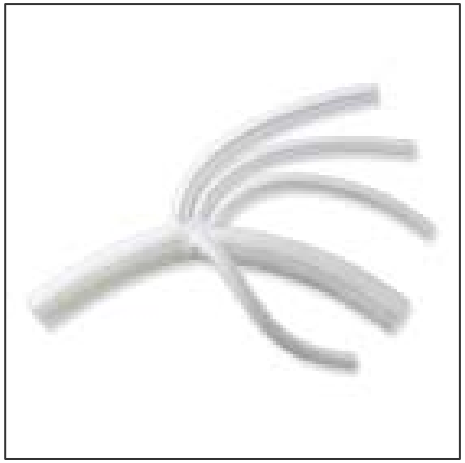
商品紹介：外科関連



人工心臓弁

（Carbomedics社製）

心臓内の血液の逆流を防ぎ、正しい流れを保つために機能している心臓弁が、十分に開かなくなったり、完全に閉じなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。



人工血管

（JUNKEN MEDICAL社製）

動脈瘤（動脈の壁に瘤ができ、場合によっては破裂、出血する）などで痛んだ血管を切り取って人工血管に置き換えたり、バイパスとして使用します。

人工弁付血管

(Carbomedics社製)



人工心臓弁と人工血管が一体となっており、大動脈弁と弁につながる動脈を同時に交換する場合に用いられます。

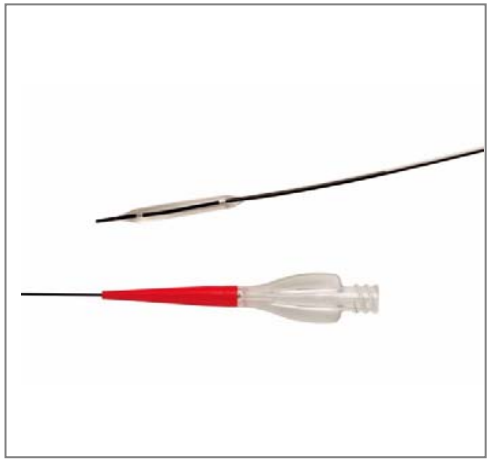
人工肺

（Sorin Group社製）



心臓の外科手術を行う場合、一時的に心臓を停止させ、人工心肺装置により血液を循環させますが、その際血液中の二酸化炭素を除去し、酸素を供給する肺の働きをします。

商品紹介：インターベンション

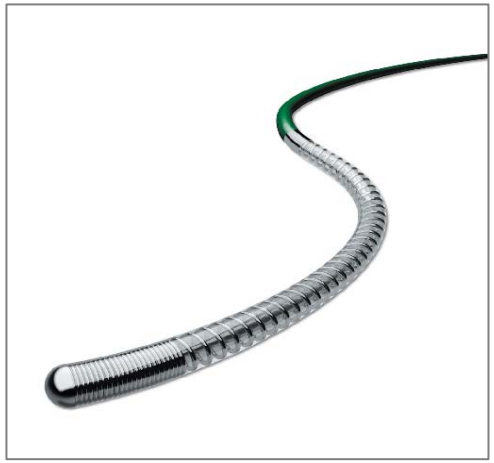


バルーンカテーテル

（カネカメディックス社製）

心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。



ガイドワイヤー

（自社製造製品）

心房中隔欠損閉鎖器具

（AGA Medical社製）

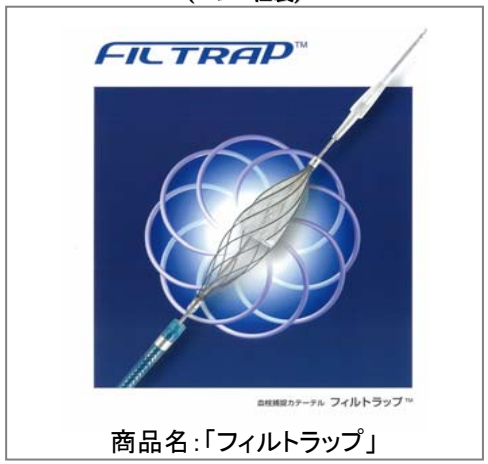


商品名：「アンプラッツァー」

先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患（心房中隔欠損症）を、従来の外科手術ではなくカテーテルを用いて治療します。

血栓異物除去用カテーテル

（ニプロ社製）



商品名：「フィルトラップ」

血管内の浮遊血栓等の血管内異物を捕捉または除去するカテーテルです。バスケットがフィルター型のため血流を確保することができます。

■ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、日本ライフラインの将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品に関し、治験に関する事項、薬事法の承認に係る事項、および発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合せ先

日本ライフライン株式会社
経営企画室　山田
電話　03-6711-5214
Mail　ir@japanlifeline.com
URL　http://www.jll.co.jp



... for patient comfort.